

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	御前崎市役所		代表者名	柳澤 重夫
担当者部署	建設経済部		連絡先電話番号	0537-29-8732
担当者役職	係長	担当者氏名	丸尾 貴信	連絡先E-mail
住所	437-1692 静岡県御前崎市池新田5585			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	杉本 直也
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	アドバイザー杉本氏は、御前崎市との繋がりが非常に多く、今まで御前崎市に携わった仕事も多々あることから、市の未来のことも踏まえた講演内容であった。また、どなたにも気さくな方で、話しやすく人を引き寄せる力を持っていると感じた。
アドバイザーへの要望事項	1回の講演だけでなく、引き続き定期的なセミナーや意見交換会等出来ればありがたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月1日	14時00分	16時00分		120
	派遣形態	講演（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	20人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	景観とは一言で言っても、人それぞれの捉え方があり、今後計画を策定するにあたり、どのような形で地元と合意形成や意思決定を目指していくことや、同じ目線で共通意識をもち課題をクリアできるかが課題である。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	3次元点群データを使用し、景観シュミレーション等を取り入れることにより、住民との目線を同じにし共通意識を持つことで、地元との合意形成や意思決定をスムーズに行うことができるのでは。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	住民との合意形成や共通意識を持つ際に、3次元点群データを用いて、景観シュミレーション等取り入れることで、計画策定後のイメージが湧きやすく色々な意見が出るのでは？等の点群データ活用により、得られる可能性がある情報の支援を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	まずは、職員が同じ意識を持つことや、3次元点群データを利用して景観のみならず、災害や未来のまちづくり等に今回の講演を受けた内容を今後どのように使用することが出来るのか？等、気づきや新たな情報を入手することが出来た。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input checked="" type="checkbox"/> その他
	今後計画を策定する前に、使用用途によりスムーズに事業を進捗させることができるツールとして情報を得ることが出来た。	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙添付資料のとおり。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	景観計画策定時に、地元住民との合意形成を行う際、景観計画のみならず未来の街づくりを意識し、住民協働のもと事業に取り組む。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

